

No.241 2003.9

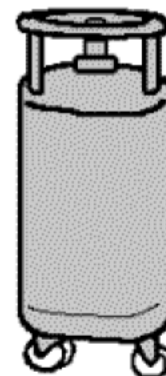
東京大学低温センター 低温センター・ニュース

<http://www.crc.u-tokyo.ac.jp> TEL. 22851,22852(事務室), 22853(技官室)

○液体窒素容器の再検査について

最近、自動加圧型液体窒素容器(自加圧型容器とも呼ばれている)を購入する研究室が増えているようですが、メーカーによっては、センターでの供給が困難な構造になっている容器もあります。容器を購入する際は、事前に低温センター技官室に相談してください。

また、自動加圧型液体窒素容器は高圧ガス保安法では、容器扱いになって《容器再検査》が義務づけられています。検査期間は容器の製造年によって違いはありますが、最近購入された容器なら5年毎の再検査になります。再検査を受検していない容器には、液体窒素を充填できないようになっていますので研究室での管理をきちんと行い、再検査の時期が来たら必ず受検をしてください。



○液体ヘリウム供給停止日のお知らせ

10月、11月の供給停止日は以下のとおりです。間違いのないようにお申し込みください。

10月 8日(水) 10月22日(水)
11月12日(水) 11月19日(水)

ただし、液体ヘリウム供給停止日もヘリウム容器の回収及び液体窒素の供給は通常どおり行います。

○ヘリウムガス回収率

平成15年7月分

(単位は全てm³)

	7/1在庫	8/1在庫	供給量	回収量	損失量	回収率(%)
理サブ	921.9	962.6	4577.3	3655.5	881.0	80.6
工サブ	1065.2	1239.3	3574.5	2762.6	637.8	81.2
農学NMR	69.1	78.3	70.5	53.8	7.5	87.7
総合試験所	202.5	267.5	410.3	342.1	3.1	99.1
合計	2258.7	2547.7	8632.6	6814.0	1529.4	81.7
特別価格	—	—	71.3	24.0	47.3	—
備考	$\text{回収率} = \frac{\text{回収量}}{(\text{供給量} + 7/1\text{在庫}) - (8/1\text{在庫})}$ 回収ガスは純度100%として、回収率を計算					

平成15年 8月分

(単位は全てm³)

	8/1在庫	9/1在庫	供給量	回収量	損失量	回収率(%)
理サブ	962.6	864.9	3199.5	2689.3	607.9	81.6
工サブ	1239.3	854.3	2966.3	2679.9	671.3	80.0
農学NMR	78.3	88.0	70.5	47.7	13.1	78.5
総合試験所	267.5	172.5	348.0	315.3	127.7	71.2
合計	2547.7	1979.7	6584.3	5732.2	1420.0	80.1
特別価格	—	—	72.0	—	72.0	—
備 考	<p style="text-align: center;">回 収 量</p> $\text{回収率} = \frac{\text{回収量}}{(\text{供給量} + \text{8/1在庫}) - (\text{9/1在庫})}$ <p style="text-align: center;">回収ガスは純度100%として、回収率を計算</p>					